

平成26年4月30日
 国立大学法人 山梨大学

基幹事業：災害時インフラネットワーク維持施策

【成果の概要】

- (1) 災害時における道路ネットワーク維持施策に関し、内陸活断層地震による道路ネットワーク被害を想定した場合の山梨県内にもたらされる経済損失の計測を行い、どの区間の復旧を優先すべきかを検討しました。
- (2) 道路の補修計画策定のために、仮想の道路について交通量や気候を考慮した舗装劣化指標（MCI）のシミュレーションを行い、その仮想データに対して、路面観測期間を変化させた場合に判断を誤る確率等を計算し、観測期間による違いを確認しました。

【今後の展開】

- (1) 緊急物資輸送への影響も加味し、どの区間を優先的に耐震化すべきかを総合的に検討します。
- (2) 道路の劣化データや観測データの入手に努めるとともに、コスト等を加味した現実的な望ましい観測期間について検討を行います。



表1 道路劣化指標（MCI）の意味

MCI	内容
10	全く欠陥が認められない(良)
8	幾分欠陥があるが、良好とみなされる
6	欠陥は多いが修繕は要しない
4	簡単な修繕を要する
2	大規模な修繕を要する

図1 曾根丘陵断層地震を想定した道路ネットワーク被害の復旧優先度